

# 環境報告書

# 2019



報告書の対象範囲

対象期間 2018年4月1日～2019年3月31日

一部、対象期間以前、もしくは以後の活動内容やグループ会社の活動内容も含まれます。

# 目次

---

● 目次	P 1
● 社長環境メッセージ	P 2
● 会社プロフィール	
● 社是・経営理念	P 3
□ 社是	
□ 経営理念	
● 環境組織・環境基本方針	
□ 環境組織	
□ 環境基本方針	
● 事業部 環境方針	P 4
□ 設備部門	
□ 自動車部品製造部門	
● 環境に配慮した製品、生産設備の紹介	
□ 設備部門 「省エネ 塗装乾燥炉」	P 5
□ 自動車部品製造部門 「細幅塗装による塗料使用量の低減」	P 6
● 環境への取り組み	
□ トリニティ工業全社の環境負荷低減活動	P 7
■ 地球温暖化防止への取り組み	
■ 化学物質管理への取り組み	
■ 循環型社会への取り組み	
□ 法令順守と環境リスク低減活動	P 8
■ 産業廃棄物処理業者の現地確認	
■ 産廃マニフェスト監査	
■ 環境異常処置訓練	
■ 環境異常苦情対策	
□ 環境マネジメントシステム	P 9
■ 工場ISO14001取得状況	
■ 全社安全健康環境会議	
□ 環境コミュニケーション	
■ 豊田市「環境の保全を推進する協定」	
■ 「トヨタ地球環境月間」への参画	
■ 「ライトダウンキャンペーン」への参画	
● 地域とのコミュニケーション活動	
□ 豊田工場	P 10
■ 近隣地区役員との交流会	
■ 地域美化活動	

## 社長環境メッセージ

---

近年、エネルギー・資源の枯渇問題、地球温暖化、生物多様性の衰退問題など、地球環境をめぐる「国境を越えた課題」が山積する中、企業が将来にわたって持続的に成長するためには、事業活動の経済的価値を向上させるだけでなく、社会の重要性である環境問題への取り組みが重要不可欠であると考え、省エネルギー・環境負荷低減に取り組んでまいります。

当社の主要顧客であるトヨタ自動車殿は、2015年に「トヨタ環境チャレンジ2050」を発表され、当社もオールドトヨタの一員として、CO<sub>2</sub>削減、廃棄物削減、水使用量低減、地域の生物多様性向上などチャレンジャブルな目標を立てて、地球環境の改善に向けた活動を進めてまいります。

当社の環境改善への取り組みとしては、「熱・水・空気の総合エンジニアリング企業」と「塗装技術」のプロフェッショナルとして、省スペース、省エネルギー型の塗装設備の技術開発に取り組んでおります。

また、部品生産活動においては、工場動力源の省エネルギー化、新工法の採用などを推進し、少資源で環境にやさしい製品作りを推進しております。

2030年の「当社グループのあるべき姿」をイメージし「TRINITY VISION 2030」を作成しました。

このVISIONには、設備事業部・部品事業部のコラボレーションによる相互効果を発揮し、全世界のお客様の期待を超える「よい品」「よい仕事」を創造することで、Trinity Only One技術を確立し、お客様に「よろこびと感動」をお届けするという想いが込められています。

今後もお客様、社会・環境との調和を図りながら、一層の努力を続けてまいります。皆様方のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。



代表取締役社長  
玉木 利明

## 会社プロフィール

---

創立	1980年7月1日
本社所在地	愛知県豊田市柿本町1-9
資本金	13億1,100万円
売上高	連結：353億円 単独：304億円（2019年3月期）
従業員数	連結：905名 単独：738名（2019年3月31日現在）
事業内容	「塗装プラント」「塗装システム」「産業機械」の設計、製作、施工 「自動車部品」の製造
事業所	豊田工場 三好工場 東京支店 大阪支店 東北営業所 田原営業所 九州営業所

□社是

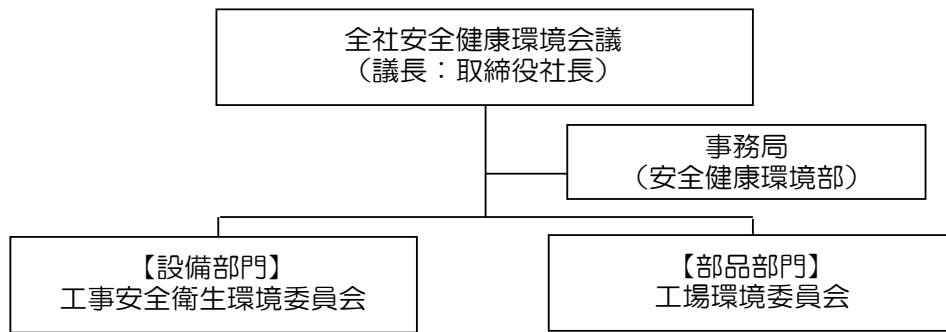
# 信頼と創造

□経営理念

1. 世界規模での経営基盤を強化し、環境の変化に柔軟に対応して着実に成長する。
2. 相互信頼に基づき、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に発揮する企業風土を作る。
3. 各国、各地域に根ざした事業活動を通じて、産業・経済・文化の発展に貢献する。
4. 時代を先取りした研究と開発に努め、物づくりの技術を高めることにより、お客様に満足して頂ける魅力溢れる商品を提供する。
5. クリーンで公正な企業活動を実践し、安全で魅力的な商品の提供を通して、住みよい地球と豊かな社会作りに貢献する。

## 環境組織・環境基本方針

□環境組織



□環境基本方針

1. 国、地方自治体などの環境法規等を遵守するとともに、自主管理基準の目標を定め、達成することで、環境保全の向上に努める。
2. 当社の保有技術を更に向上させ、環境に配慮した製品技術開発に努め、排出物・廃棄物の発生やエネルギー消費量の少ないモノづくりに継続的に取り組む。
3. 生産活動が環境に及ぼす影響を予測・評価し、一人ひとりの自覚と責任において生産工程の自主管理に努め、環境に配慮した取り組みを推進する。
4. より良い地球環境の実現をめざし、企業活動のみならず、良き企業市民として社会や地球に貢献する為、社内の力を結集し、環境保護にも積極的に取り組む。

# 事業部 環境方針

## □設備部門

### 本社・設備事業部環境方針

本社・設備事業部は、塗装設備のシステム設計、技術開発を通して地球環境の保全・保守を第一義に取り組む。

1. 各地域の法令・条例・協定を遵守する。
2. 設備システムが与える環境インパクトを評価し設計を行う。
3. 設計から調達・施工・調整・顧客への引き渡しまで、資源の無駄使いを抑え、エネルギーの軽減に努める。
4. 環境内部監査を行いマネジメントの機能が有効に働いているか定期的に審査を行う。
5. 事業部署に対して環境保全教育を継続的に行う。
6. オフィス内の4Sを回り、省エネと資源リサイクルを推進する。

【本社】



## □自動車部品製造部門

### 豊田工場環境方針

当地において、自動車部品の製造ならびに塗装設備事業を行なうにあたり、従業員一人ひとりの自覚と責任において環境汚染を防止し、関係仕入先とも連携を取りながら、環境保全への継続的改善に取り組む。

1. 国・愛知県・豊田市との法令・条例・協定を遵守する。
2. 豊田工場周辺地域の良好な環境の保全に努める。
  - (1) 矢作川水系水質保全の為に排出水の適正処理と自主管理基準の維持・管理
  - (2) 地域住民の快適な生活を守る為に騒音の防止
  - (3) 燃焼排ガス発生設備の維持管理による大気汚染防止
  - (4) 豊田工場敷地内の緑化推進
3. 資源枯渇・地球温暖化に対応する為、省資源・省エネルギーに努める。
  - (1) 生産設備改善・節電活動によるエネルギー消費量の削減
  - (2) 生産工程での排出物減量と再資源化の推進による廃棄物低減
  - (3) 仕入先への環境負荷低減の展開
  - (4) 部品設計・設備設計段階での環境への配慮
4. 消費資材の環境影響評価を行い、有害物質使用の防止に努める。

【豊田工場】



### 三好工場環境方針

当地において、自動車部品の製造を行なうにあたり、従業員一人ひとりの自覚と責任において環境汚染を防止し、関係仕入先とも連携を取りながら、環境保全への継続的改善に取り組む。

1. 国・愛知県・みよし市との法令・条例を遵守する。
2. 三好工場周辺地域の良好な環境の保全に努める。
  - (1) 地域住民の快適な生活を守る為に悪臭の防止
  - (2) 燃焼排ガス発生設備の維持管理による大気汚染防止
  - (3) 三好工場敷地内の緑化・美化推進
3. 資源枯渇・地球温暖化に対応する為、省資源・省エネルギーに努める。
  - (1) 生産設備改善・節電活動によるエネルギー消費量の削減
  - (2) 生産工程での排出物減量と再資源化の推進による廃棄物低減
4. 消費資材の環境影響評価を行い、有害物質使用の防止に努める。

【三好工場】



# 環境に配慮した製品の紹介（設備部門）

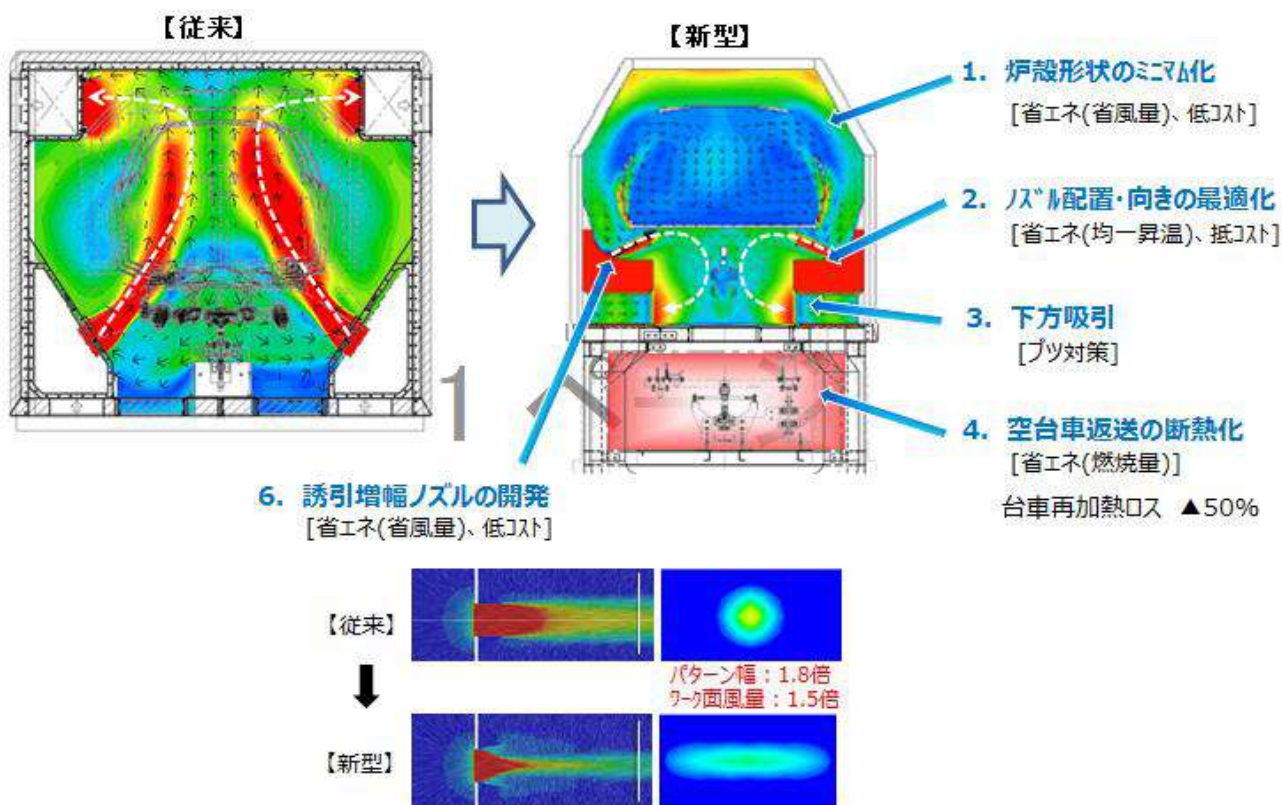
## 省エネ 塗装乾燥炉

### □ 概要及び目的

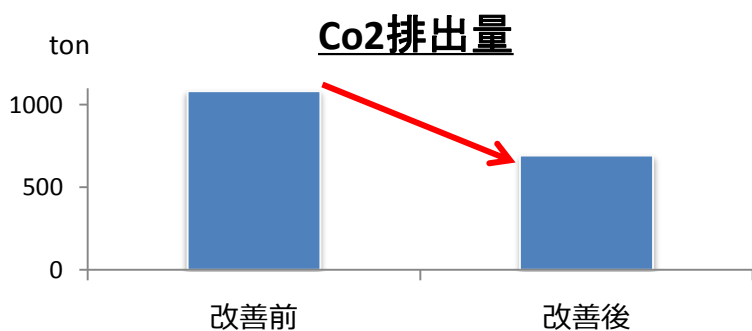
省エネチャレンジに貢献するため「省風量・工程短縮」を狙った省エネ乾燥炉を開発し、更に、低コスト・高品質を織り込む事により顧客満足度の向上を図る。

### □ 技術の紹介

炉殻サイズはボディサイズ・形状に則した、最適形状+ミニマム化。  
誘引増幅ノズルの採用およびノズル配置・向き最適化により、温度の上がり易いボデー一般外面と温度の上がりにくいフロア部を温度ムラ無く・均一に昇温させる事により炉長(工程)短縮化を実現させた。



### □ 効果



・Co2排出量

**37% 低減**

・工程短縮：▲30%

- ・2019年度 ボデーメーカー塗装ショップ軸 省エネ改善事例 『最優秀賞』 受賞
- ・2019年度 省エネ大賞（一般財団法人 省エネルギーセンター主催）『経済産業大臣賞（産業部門）』 受賞



## 細幅塗装による塗料使用量の低減

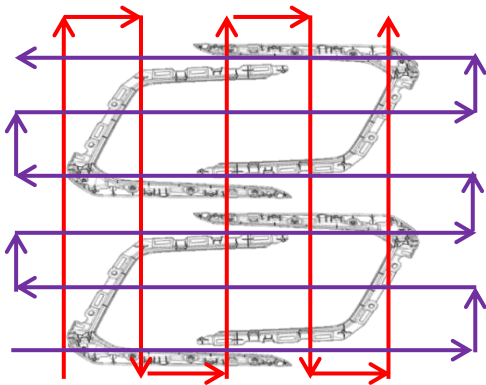
### 概要及び目的

細幅製品に対し、製品形状を一筆書きする様に塗装ティーチを組む事で、ムダ噴き部分の塗料使用量を削減する。

### 技術の紹介

#### 従来

形状に関係ない軌跡  
(時間,塗料使用量ムダ)



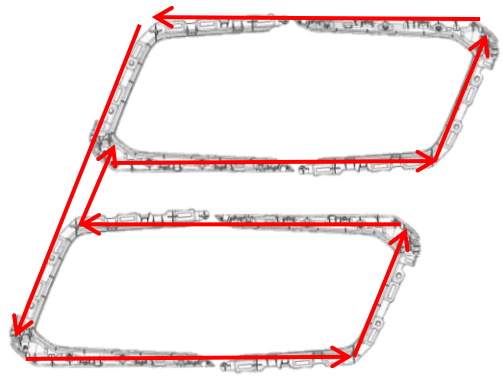
#### 楕円パターン



・塗装方向 ⇒ 一定方向

#### 改善後

形状に沿った軌跡  
(ひと筆書き)

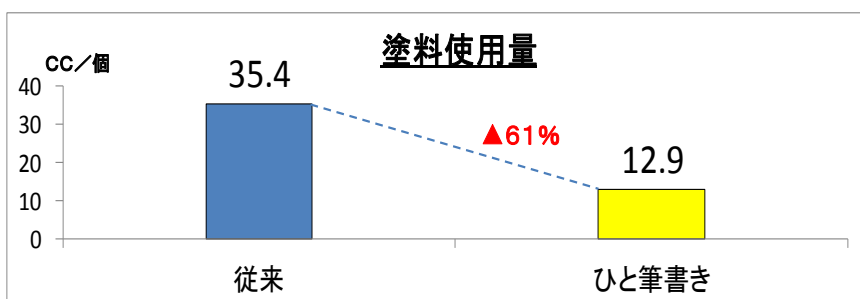


#### 丸パターン



・塗装方向 ⇒ 全方向

### 効果



**61%** 低減

# 環境への取り組み

## トヨタ工業全社の環境負荷低減活動

### ■地球温暖化防止への取り組み

地球温暖化問題において、CO2排出量の低減が最優先課題と認識し、エネルギー使用量低減の取り組みを積極的に進めております。

省エネ法に基づき、全社で省エネ活動に取り組んできましたが、増産に伴い、エネルギー使用量が増加したものの、改善活動の効果もあり、原単位は若干増加に抑えることができました。

豊田工場では射出成形機を使用していますが、従来使用しているものは主に油圧式で直圧型の射出成形機でした。駆動に油圧を利用するためエネルギー消費が多いものでした。新たに導入する成形機は電動式の射出成形機として、生産量に比してエネルギー効率の良いものを採用し順次切り替えていこうとしています。

### ■化学物質管理への取り組み

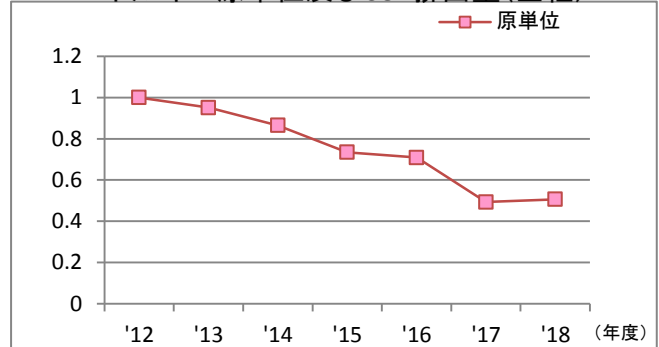
PRTR対象物質は塗装工程で使用する塗料やシンナーに大部分が含まれていますので、含有量の少ないものを採用したり、配管を短縮したり、色替え洗浄回数の低減や塗装ロボットティーチの見直しなど、使用量の削減に努めています。

### ■循環型社会への取り組み

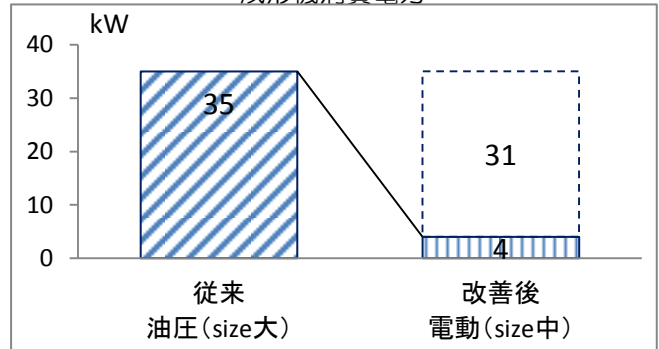
産業廃棄物処分場のひっ迫、処分場周辺の環境問題を重く受け止め、当社においてもリサイクル化の推進や不良率低減活動に努めています。

2018年度は生産量の伸びが大きく、廃棄物の発生量は増えてしまいましたが、歩留まり改善に取り組み、生産の効率化を図っています。

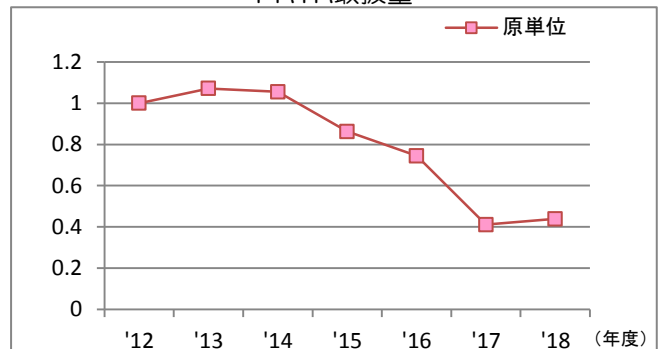
エネルギー原単位及びCO2排出量(全社)



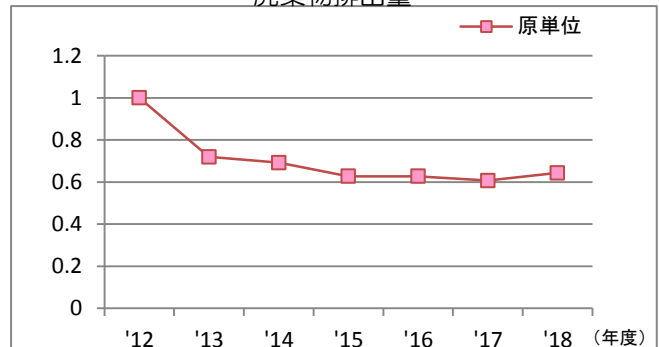
成形機消費電力



PRTR取扱量



廃棄物排出量





# 環境への取り組み

## □法令順守と環境リスク低減活動

### ■産業廃棄物処理業者の現地確認

産業廃棄物の処理を委託しているすべての処理業者の現地確認を年1回実施し、実際の処理の状況や書類の管理状況などを確認しています。



### ■産廃マニフェスト監査

各事業所において産業廃棄物処理業者、運搬業者との契約状況やマニフェストの保管状況を年に1回、内部にて自主監査を実施しています。



### ■環境異常処置訓練

想定された環境リスクを基に、環境事故発生時の情報伝達と迅速な対応能力を向上させる為、起こりうる状況を想定した訓練計画を立て、異常処置訓練を定期的に行っています。

2018年9月28日に廃水処理場、雨水調整池、ボイラー、冷凍機の緊急訓練を実施しました。配管が破損して排水処理上に汚水漏洩を想定した訓練や雨水側溝に汚水流出を想定した訓練を実施しました。



### ■環境保全対策

#### ・臭気対策

塗装工程において塗料を使用している為、臭気による近隣住民への影響が起らないように臭気測定器を設置し、常時観測しています。



#### ・油漏れ対策

万が一、油漏れ等が発生した場合、構外へ流出しないよう緊急処置用の備品を備えています。



# 環境への取り組み

## □環境マネジメントシステム

### ■工場ISO14001取得状況

2000年10月31日に豊田工場でISO14001の認証を取得しました。その後、2008年には三好工場にも範囲を拡大しています。

2018年度は、9月に更新審査を受審しました。環境マネジメントシステムは概ね有効に機能していると視られましたが、認証更新が認められました。



### ■全社安全健康環境会議

毎月社長をはじめ、役員・各部長が全員参加して「安全・健康・環境」についての会議を開催し情報の共有化と問題解決に取り組んでいます。また、各事業所の産業廃棄物マニフェストの管理状態、産業廃棄物処理業者の現地確認報告や節電活動、エネルギー低減活動の実施状況を報告して、法令違反の未然防止、環境保全に努めています。



## □環境コミュニケーション

### ■豊田市「環境の保全を推進する協定」

豊田市と「公害防止協定」を昭和60年に締結し公害防止に努めてきました。

近年の環境問題に対して、事業者と市との共働による持続可能な社会の構築に取り組む為、「環境の保全を推進する協定に係る細目書」を改訂し、平成26年12月に締結しました。

また、今年度も昨年度に引き続き「緑のカーテンプロジェクト」に参加し、工場ですらった部品の通箱を再利用して、朝顔、フーセンカズエラを植えて緑のカーテンを作りました。



境界地における環境測定



緑のカーテン

### ■「トヨタ地球環境月間」への参画

6月をトヨタ地球環境月間とし、スローガン「～未来のために～やりましょうよ、トヨタ環境チャレンジ2050!」のもと、当社も活動に賛同し、職場でのこまめな消灯、クールビズ、エコドライブ等、日頃のCO2削減活動を再徹底しました。

### ■「ライトダウンキャンペーン」への参画

環境省主催のイベント『CO2削減/ライトダウンキャンペーン』へ参加。当社では、6月20日を一斉定時退社日とし、全事業所にて定時後、事務所内の電気を消灯して、CO2低減活動に参加しました。



## 地域とのコミュニケーション活動

### 豊田工場

#### ■近隣地区役員との交流会

2018年12月6日に、毎年実施している、豊田工場近隣地区自治会（桂野町、中垣内町、加茂川町、宮石町、奥殿町）との懇談会を自治会役員を招き、CSR活動と位置付けて実施しました。当社の環境の取り組み内容・進捗状況の説明、工場見学をしていただき、防災対応等の意見交換を行い、地域とのコミュニケーションを深めて相互の理解を深めています。



#### ■地域美化活動

毎年4月に新入社員による地域美化活動を実施しています。

今年度も4月13日に豊田工場から奥殿陣屋までの周辺道路を、地域の方々ともコミュニケーションを取りながらゴミ拾い活動を実施しました。

また、地域の環境美化活動に合わせ、6月、9月に豊田工場周辺の草刈り及び清掃活動を実施しています。



# **Trinity** 環境報告書2019

<お問い合わせ先>

トリニティ工業株式会社

安全健康環境部

TEL : 0565-24-4800

FAX : 0565-24-4825

当社ホームページより閲覧できます。

URL : <http://www.trinityind.co.jp>

2020年3月発行